

を編集所にして、夜は『郷土研究』の論文執筆と編集に没頭する。

大5 8歳

* 中耳炎を患い、左耳は殆ど聞えなくなる。
* 秋頃から夜曳に行くようになる。

星空の下、浜辺の焚き火を囲んで大人たちの話を聞く楽しみを知る。

柳田(41歳)

このころ折口信夫初めて訪ねてくる。

大6 9歳

* 不幸な友人を思いやり、山の井戸に棲む亀に涙をそそぐ、感じ易く泣き味噌の少年であった。

柳田(42歳)

三月二〇日から二カ月あまり、台湾、中国、朝鮮を旅行。

大7 10歳

* 植田という先生が担任になった。

短気でよく殴る人であったが本をよく読むとき一種口調があり、それを聞くのが何より好きであった。その影響で読方が好きになり、読方の本を一冊まる覚えにして見た。成績が一番になった。

大8 11歳

* きらいな教師が担任になり、成績はいちじるしく下がった。

友人から雑誌「日本少年」などを借りて読むことをきっかけに、豆本(講談本)をよく読むようになり、翌年にかけて一〇〇冊を下らない講談本を読む。また学校にたくさんあった世界お伽話の本もよく読んだ。

* 少年団を組織し、夜子供を集めて勉強会をした。この少年団は二年ほど続いた。

大9 12歳

* 白井という師範出の先生によって大和田建樹、徳富芦花、国木田独歩、高山樗牛、坪内逍遙などの名を知り、

母の実家の二階を探して、『自然と人生』、中学の国語教科書などを読む。中でも『平家物語』を愛読した。ここで「講義録」のあることを知った。

大正5(一九一六年)

大正6(一九一七年)

大正7(一九一八年)

大正8(一九一九年)

大正9(一九二〇年)

社会の動き

農水産業・工業

生活文化現象

18 シベリア出兵開始
富山県西水橋町で米騒動
全国に波及

19 貿易収支入超に転ずる

16 高北式犁(和犁の完成)
母船式サケ・マス漁業始まる

17 本多光太郎らKS磁石鋼を発明
17 ヤンマー、初の石油発動機の製造開始

18 外米輸入令、この年輸入量約五五万t

19 大日本セルロイド設立・セルロイド女工時代へ
19 日本の工業生産額が農業生産額を超える
19 パン食の普及により小麦の生産量急増
19 土佐式ブリ落し網創始

20 ナシの袋かけ、鳥取県で考案

16 台所電化はじまる
16 都市薪炭不足、ガス化を促す
* 化学肥料の普及
* カフェー女給のエプロン姿

18 森永ミルクチョココレット発売
18 コロッケの歌(歌)
* 主婦の友の時代、ガステーブル発売

19 森永ミルクココア発売
* 欠食児童

20 米国・モーター小型化、家電時代に入る
20 カルピス発売
20 叱られて(歌)
* カツ丼、チャップ台の時代